

安城市地域公共交通計画の中間評価

(1) 計画目標

目標1 公共交通全体の利用者数		
策定時（2021 年度）	1,277 万人	鉄道：1,165 万人 路線バス：23 万人 あんくるバス・あんくるタクシー：44 万人 一般タクシー：44 万人 レンタサイクル：0.5 万人
中間値（2023 年度）	1,485 万人	鉄道：1,350 万人 路線バス：29 万人 あんくるバス・あんくるタクシー：56 万人 一般タクシー：50 万人 レンタサイクル：0.6 万人
目標値（2027 年度）	1,686 万人	鉄道：1,520 万人 路線バス：30 万人 あんくるバス・あんくるタクシー：56 万人 一般タクシー：80 万人 レンタサイクル：0.6 万人
中間評価	○ 2023 年度時点での中間目標値（1,414 万人）は達成できているため、評価は○とします。	

目標2 あんくるバス・あんくるタクシーの利用者一人当たりの市負担額	
策定時（2021 年度）	646 円
中間値（2023 年度）	487 円
目標値（2027 年度）	現況値以下
中間評価	○ 目標値の「646 円以下」を達成しているため、評価は○とします。

目標3 「(仮称)地域の交通を考える会」の立ち上げ	
策定時（2022 年度）	—
中間値（2023 年度）	1 件
目標値（2027 年度）	新規立ち上げ
中間評価	○ 目標の「新規立ち上げ」を達成しているため、評価は○とします。

(2) 計画の確認指標

基本方針 1

多様な交通手段が連携した公共交通ネットワークの維持・活性化

確認指標		基準値	中間値	評価	変化
①	公共交通全体の不満（不満+やや不満）割合（市民アンケート）	(2022 年度) 23.5%	(2024 年度) 28.8%	×	+5.3pt
確認指標		基準値	中間値	評価	達成度
②	公共交通の路線別利用者数	(2019 年度)	(2023 年度)		
鉄道	三河安城駅	2,928,442 人/年	2,416,444 人/年	○	82.5%
	安城駅	4,254,404 人/年	3,865,984 人/年	○	90.9%
	新安城駅	4,416,336 人/年	3,902,398 人/年	○	88.4%
	北安城駅	270,893 人/年	272,573 人/年	○	100.6%
	南安城駅	925,677 人/年	942,410 人/年	○	101.8%
	碧海古井駅	227,883 人/年	218,377 人/年	○	95.8%
	堀内公園駅	94,268 人/年	67,539 人/年	×	71.6%
	桜井駅	924,468 人/年	918,999 人/年	○	99.4%
	南桜井駅	1,153,925 人/年	899,054 人/年	×	77.9%
路線バス	岡崎・安城線	48,241 人/年	53,530 人/年	○	111.0%
	安城線	253,018 人/年	233,039 人/年	○	92.1%
あんくるバス	循環線（右・左）	189,931 人/年	186,380 人/年	○	98.1%
	安祥線	26,394 人/年	33,091 人/年	○	125.4%
	桜井線	33,732 人/年	33,710 人/年	○	99.9%
	南部線	31,881 人/年	26,354 人/年	○	82.7%
	高棚線	35,353 人/年	38,823 人/年	○	109.8%
	東部線	33,747 人/年	30,055 人/年	○	89.1%
	西部線	60,465 人/年	61,308 人/年	○	101.4%
	作野線	58,747 人/年	64,059 人/年	○	109.0%
	北部線	40,255 人/年	37,467 人/年	○	93.1%
	桜井西線	49,515 人/年	46,195 人/年	○	93.3%
あんくる タクシー	里・橋目地区	313 人/年	60 人/年	×	19.2%
	高棚・箕輪地区	15 人/年	29 人/年	○	193.3%
	小川地区	9 人/年	17 人/年	○	188.9%
一般タクシー		798,863 人/年	497,353 人/年	×	62.3%
シェアサイクル		5,804 人/年	6,169 人/年	○	106.3%

バス計

	基準値	中間値	評価	達成度
路線バス計	301,259 人/年	286,569 人/年	○	95.1%
あんくるバス計	560,020 人/年	557,442 人/年	○	99.5%

※②の評価：策定時の値から基準値までの差を割戻し、中間年の数値に達していたら○、未達なら×

※②の達成度：基準値に対する中間値の割合

確認指標		基準値	変化	中間値	評価
公共交通モード別の ① 不満（不満+やや不満）割合 （市民アンケート）		（2022 年度）		（2024 年度）	
	鉄道	19.3%	+1.8pt	21.1%	×
	バス	37.6%	+14.4pt	52.0%	×
	一般タクシー	21.7%	+18.8pt	40.5%	×
	シェアサイクル	16.4%	+17.3pt	33.7%	×
バス利用者の ② 不満（不満+やや不満）割合 （バス利用者アンケート）		（2021 年度）		（2024 年度）	
	名鉄バス	16.0%	-6.9pt	9.1%	○
	あんくるバス	16.4%	+2.9pt	19.3%	×
③ 利用者一人当たりの市負担額		（2021 年度）		（2023 年度）	
あんくるバス	循環線（右）	266 円/人	-44 円/人	222 円/人	○
	循環線（左）	281 円/人	-50 円/人	231 円/人	○
	安祥線	1,054 円/人	-265 円/人	789 円/人	○
	桜井線	1,212 円/人	-441 円/人	771 円/人	○
	南部線	1,302 円/人	-320 円/人	982 円/人	○
	高棚線	957 円/人	-294 円/人	663 円/人	○
	東部線	1,177 円/人	-263 円/人	914 円/人	○
	西部線	458 円/人	-106 円/人	352 円/人	○
	作野線	470 円/人	-134 円/人	336 円/人	○
	北部線	996 円/人	-215 円/人	781 円/人	○
	桜井西線	778 円/人	-229 円/人	549 円/人	○
あんくるタクシー	里・橋目地区	4,678 円/人	+107 円/人	4,785 円/人	×
	高棚・箕輪地区	3,638 円/人	-212 円/人	3,426 円/人	○
	小川地区	3,750 円/人	+429 円/人	4,179 円/人	×

基本方針3 持続可能な公共交通体系の構築に向けた

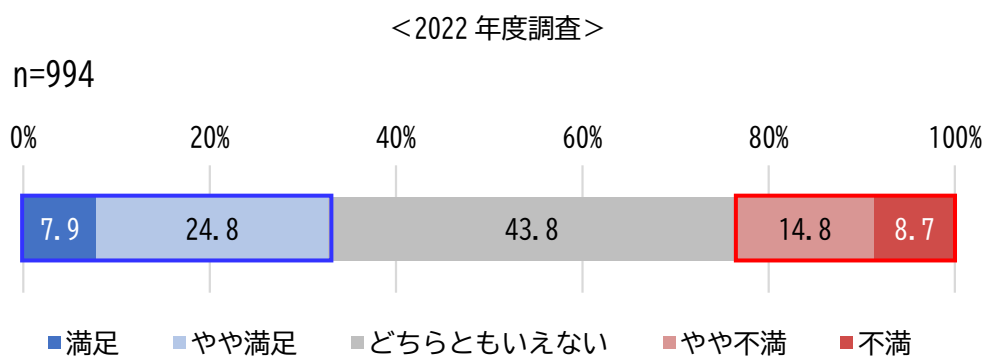
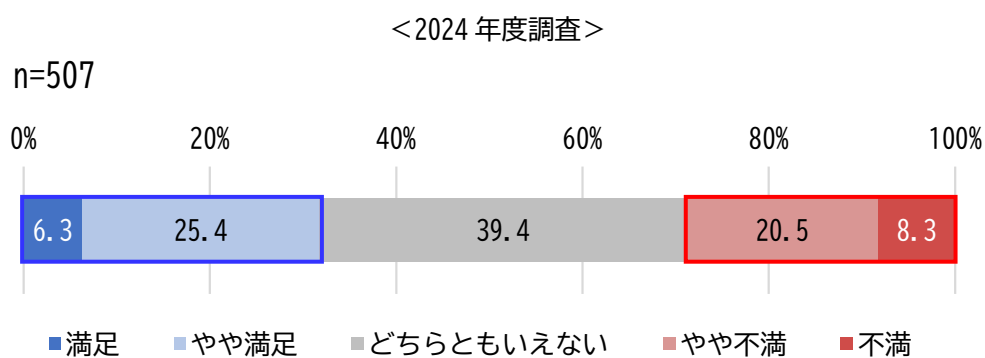
関係者が協働・連携した利用促進策の継続展開

確認指標		基準	変化	中間値	評価
①	地域住民・行政・交通事業者が協働した 取り組み件数	(2022 年度) 1 件/年平均	+1 件	(2023 年度) 1 件	○
②	公共交通サービスの認知度	(2022 年度)		(2024 年度)	
	市内を名鉄バスが走っていること	76.3%	+5.7pt	82.0%	○
	市内をあんくるバスが走っていること	99.1%	-0.9pt	98.2%	×
	自宅近くのバス停の位置	75.2%	+1.0pt	76.2%	○
	自宅近くのバス停の名前	35.3%	+5.8pt	41.1%	○
	自宅近くを走るバスのダイヤ	14.4%	+2.5pt	16.9%	○
	自宅近くを走るバスの運行経路（ルート）	22.7%	+10.0pt	32.7%	○
	自宅近くを走るバスで行くことのできる施設	27.4%	+5.7pt	33.1%	○
	自宅近くを走るバスの運賃	33.2%	-3.3pt	29.9%	×
③	公共交通を維持するために取組んでもよい施策				
	自宅周辺にある公共交通の種類を調べる	32.9%	+11.8pt	44.7%	○
	自宅から公共交通を使って行くことのできる 施設（公共施設、スーパー、病院等）を調べる	43.1%	+2.6pt	45.7%	○
	自宅から施設（公共施設、スーパー、病院等） まで公共交通で行ってみる	31.5%	-2.4pt	29.1%	×
	日常の移動の一部を自家用車から公共交通に 変更する	18.2%	+0.1pt	18.3%	○
	近所の人や友人に公共交通を使ったお出かけ 方法を教えたり、一緒に出かけたりする	7.6%	-0.1pt	7.5%	×
	近所の人や友人、町内会と一緒にバス等の公共 交通に対して協賛金（募金等）を出す	3.3%	+0.4pt	3.7%	○
	近所の人や友人、町内会と一緒にバス停の位置 やダイヤ等の改善アイデアについて話し合う	5.8%	+3.1pt	8.9%	○
	近所の人や友人、町内会と一緒に公共交通の利 用促進イベントを実施する	4.4%	-4.4pt	0.0%	×
	できることはない	23.4%	-5.6pt	17.8%	○

基本方針1

確認指標① 公共交通全体の不満（不満+やや不満）割合（市民アンケート）

公共交通全体の不満割合（不満+やや不満）は、5.3ポイント増加しており、満足割合（満足+やや満足）は1.0ポイント減少している。



確認指標② 公共交通の路線別利用者数

2023 年度の中間値は、概ね基準値を割り戻した中間年の数値に達しているが、一部の駅や路線で未達となっている。交通モード別で見ると、鉄道計、路線バス計、あんくるバス計、シェアサイクルは達成しており、あんくるタクシー計、一般タクシーは未達となっている。

図 鉄道利用者数推移

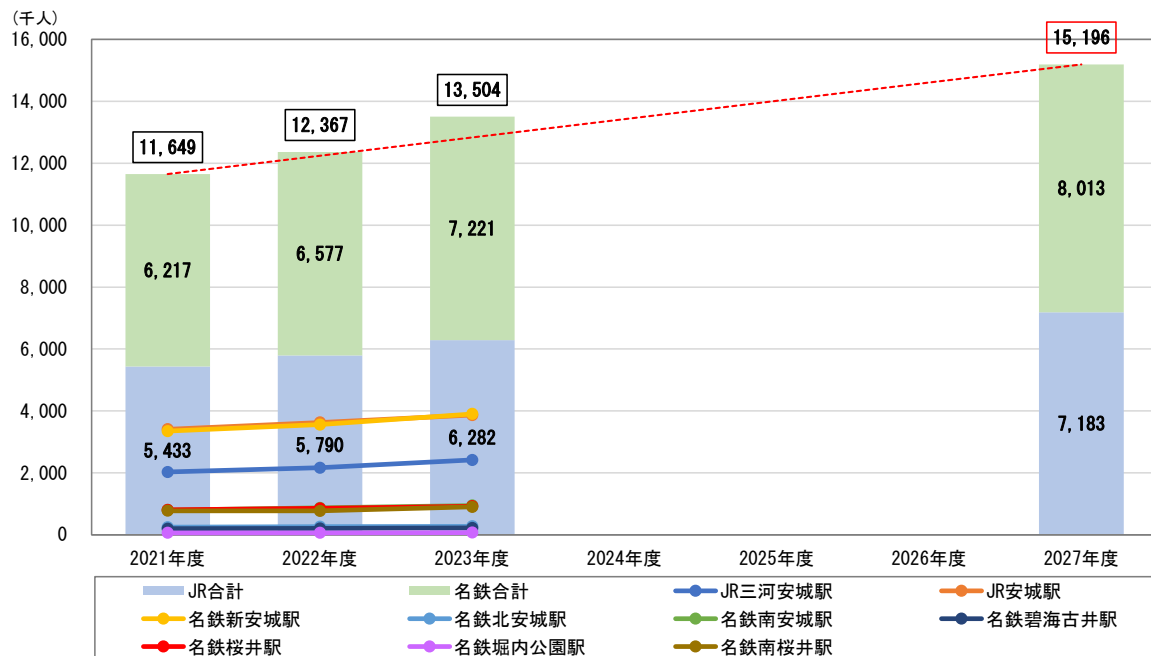


図 名鉄バス利用者数推移

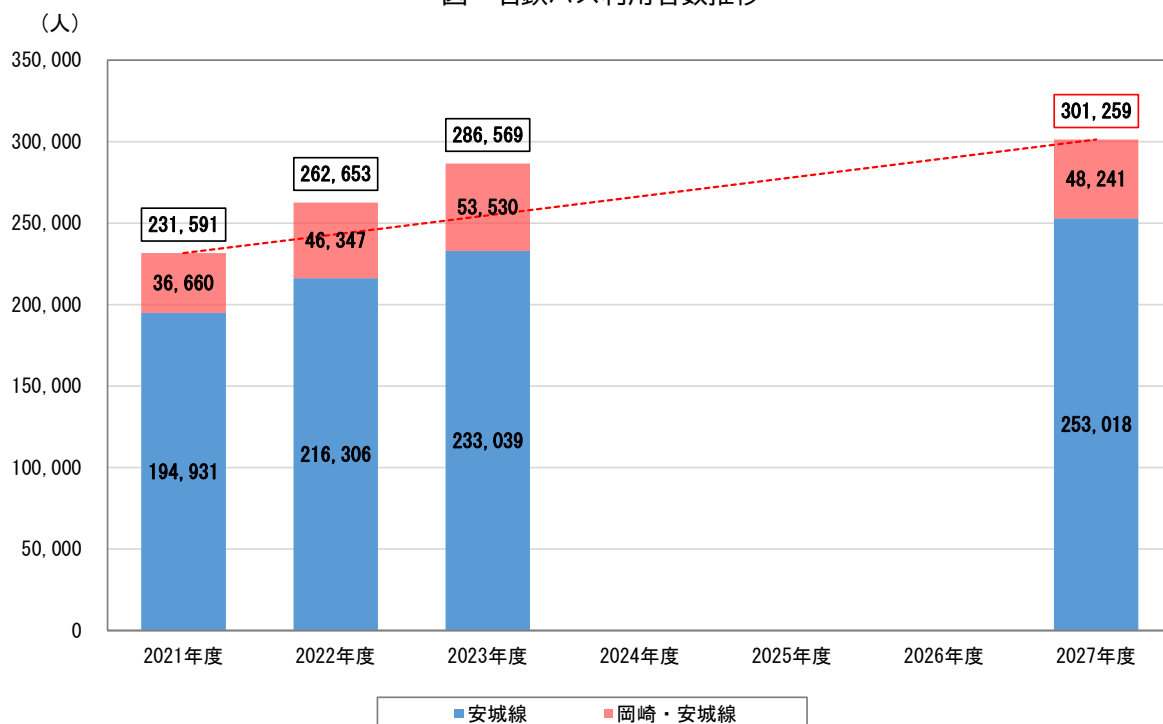


図 あんくるバス利用者数推移

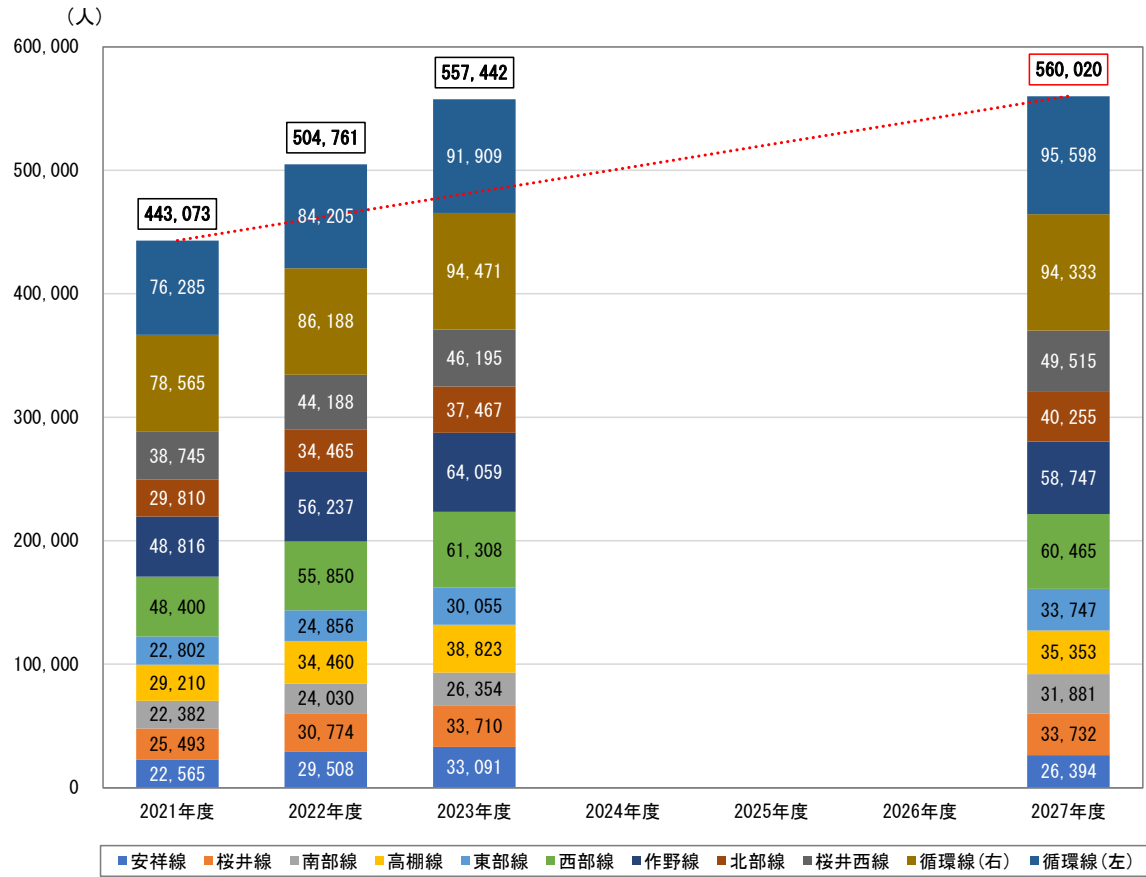


図 あんくるタクシー利用者数推移

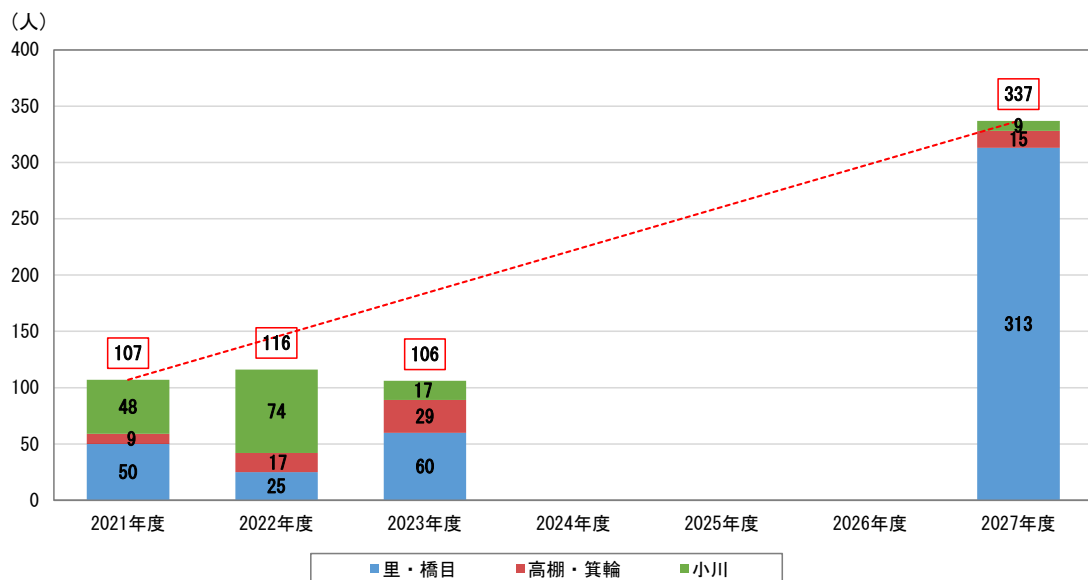


図 一般タクシー利用者数推移

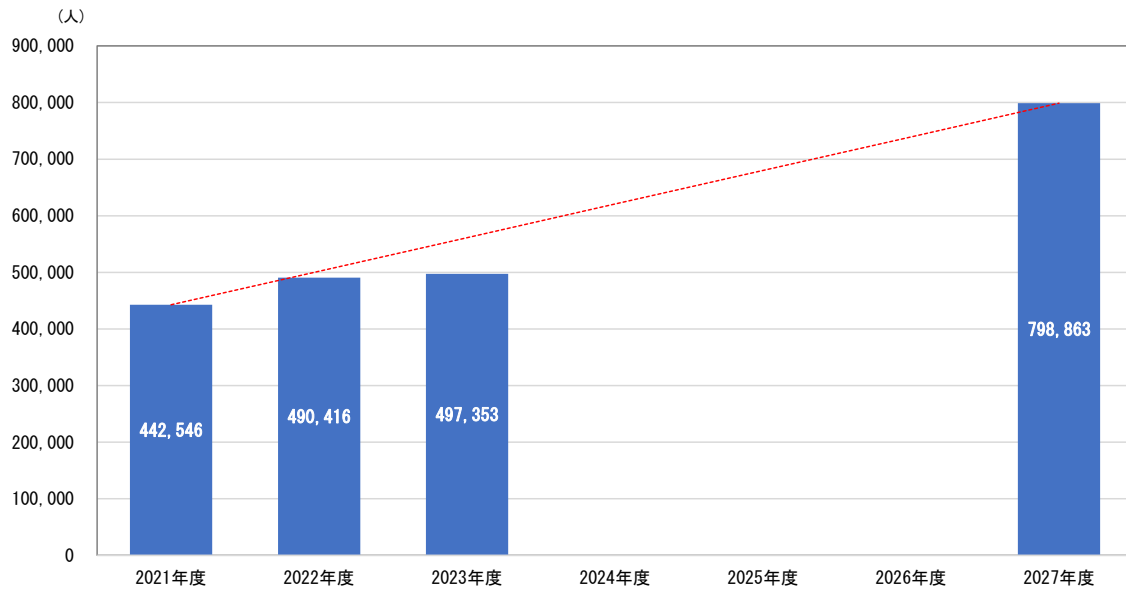
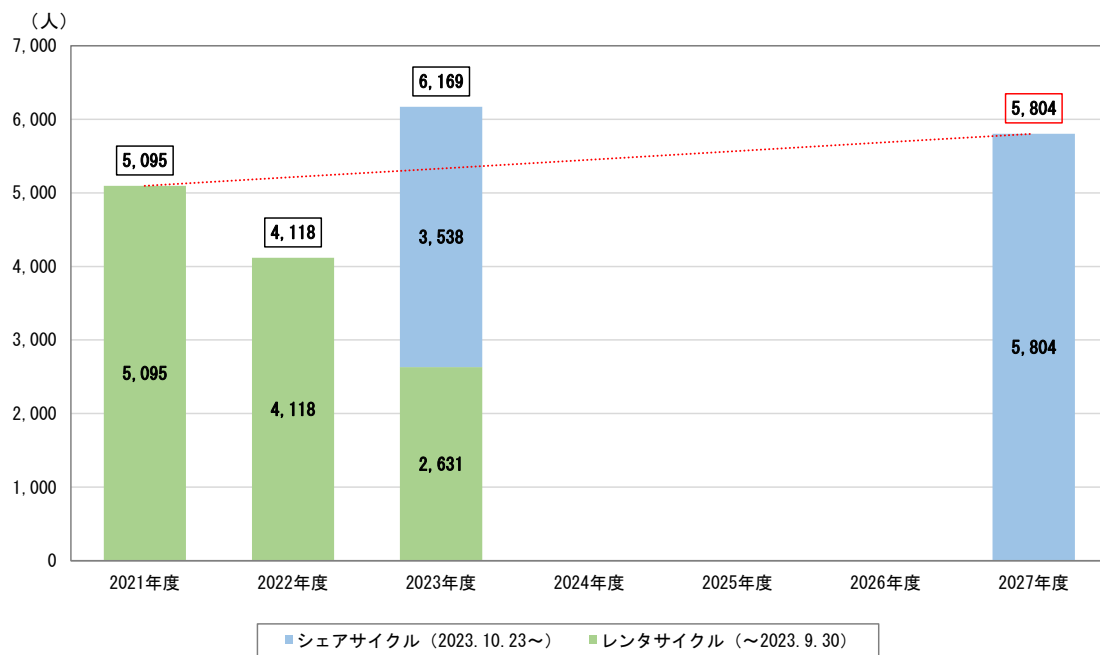


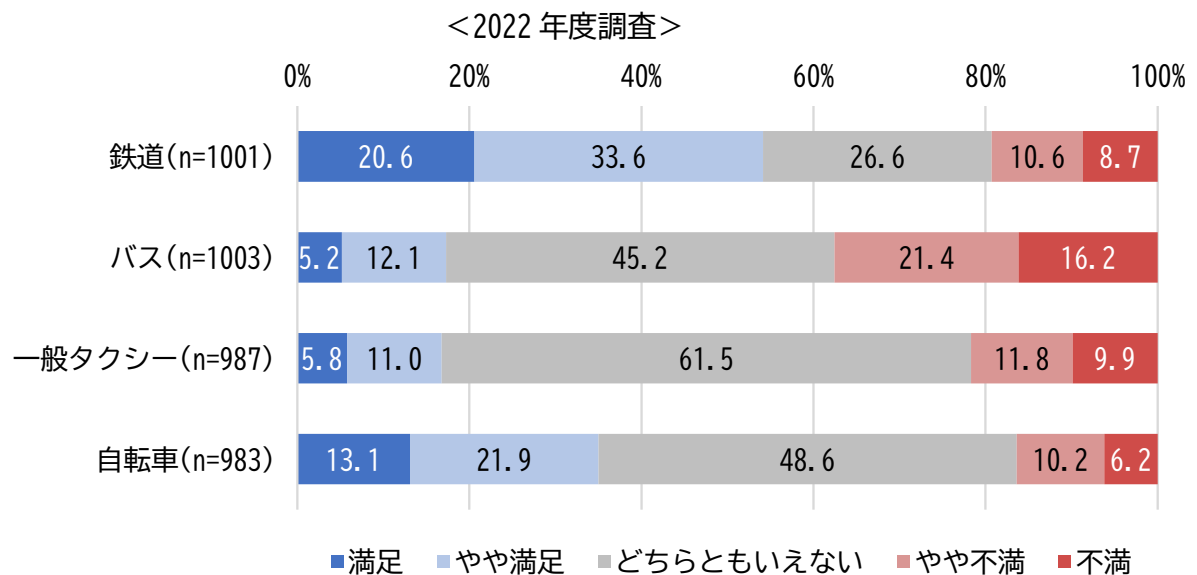
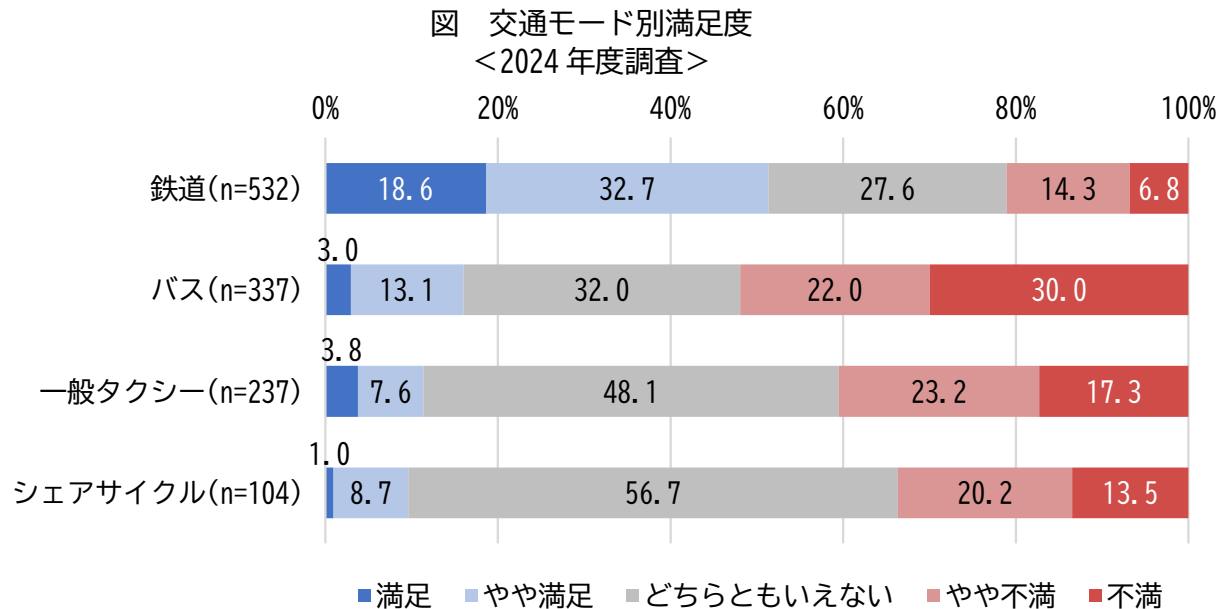
図 レンタサイクル・シェアサイクル利用者数推移



基本方針2

確認指標① 公共交通モード別の不満（不満+やや不満）割合（市民アンケート）

交通モード別の不満割合（不満+やや不満）については、鉄道は微増にとどまっているが、その他モードは 10pt 以上増加している。

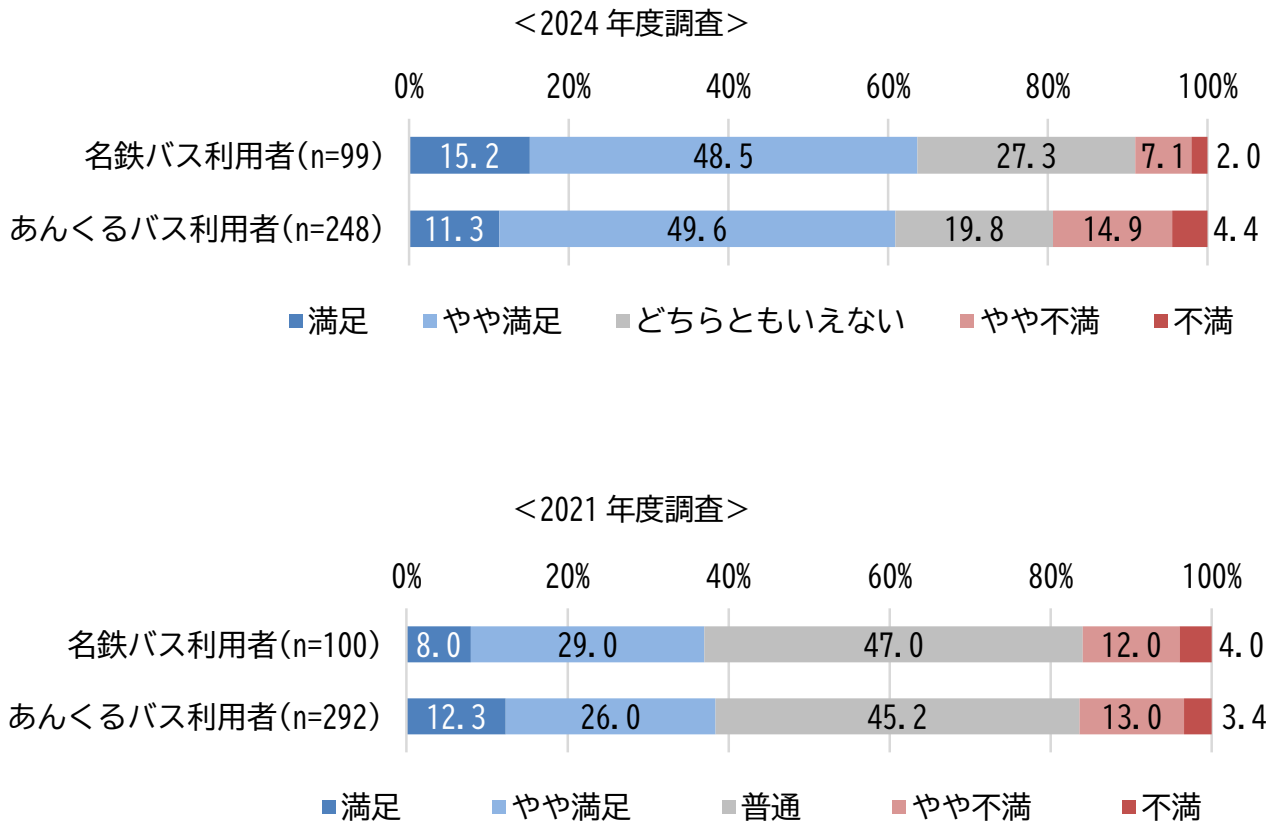


確認指標② バス利用者の不満（不満＋やや不満）割合（バス利用者アンケート）

バス利用者の不満割合（不満＋やや不満）については、名鉄バスでは 6.9pt 減少したが、あんくるバスでは 2.9pt 増加している。

一方で、満足割合（満足＋やや満足）は不満割合を大きく上回っており、名鉄バス、あんくるバスともに前回調査時より増加している。

図 バス利用者満足度

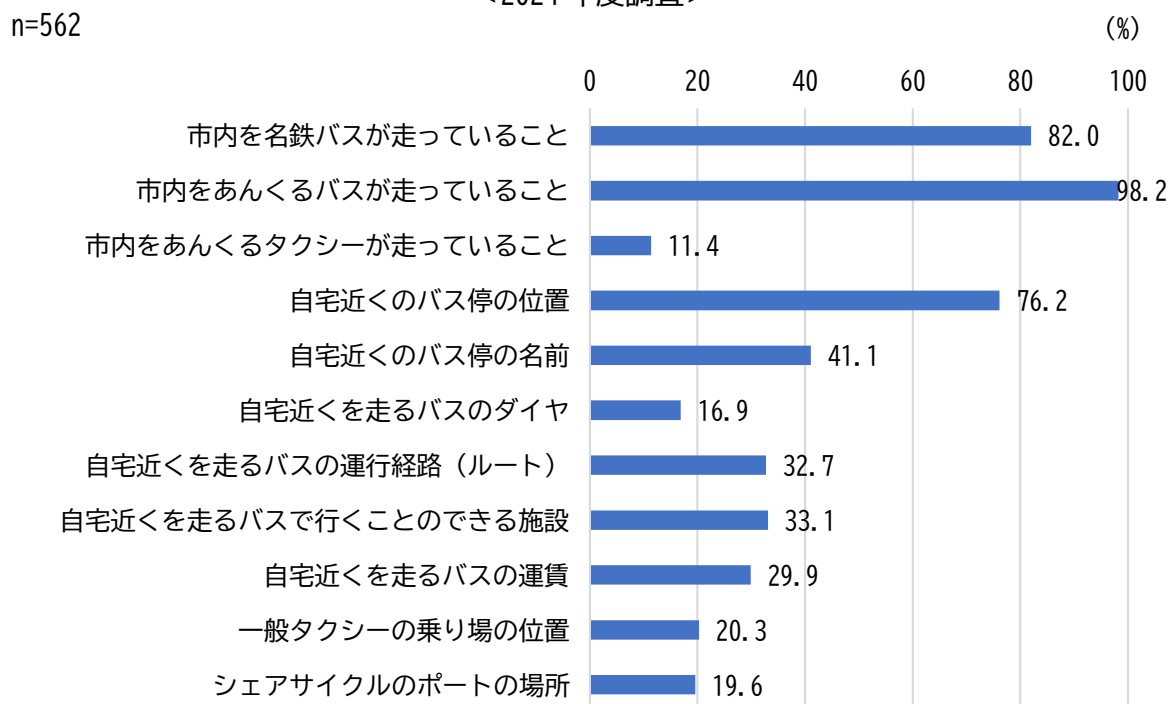


基本方針3

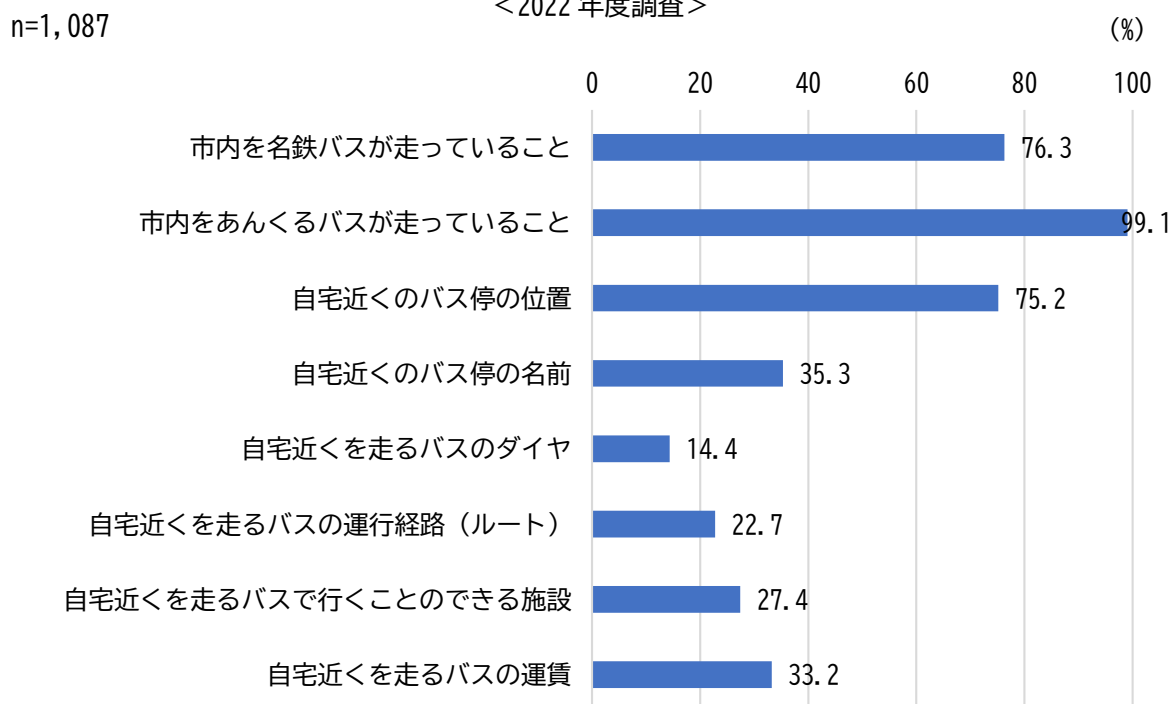
確認指標② 公共交通サービスの認知度

「市内をあんくるバスが走っていること」「自宅近くを走るバスの運賃」がわずかに減少しているものの、「自宅近くを走るバスの運行経路（ルート）」は10ptと大きく増加するなど全体として増加傾向にある。

図 安城市の公共交通について知っていること
<2024 年度調査>



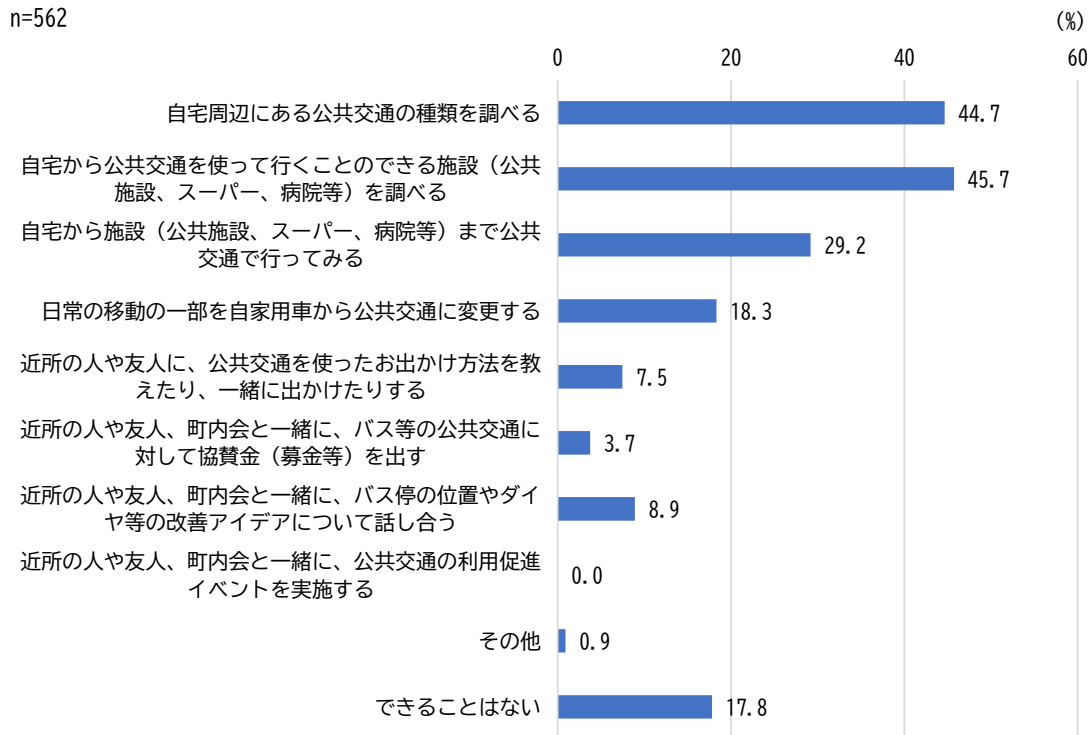
<2022 年度調査>



確認指標③ 公共交通を維持するために取組んでもよい施策

実施のハードルが高い「近所の人や友人、町内会と一緒に公共交通の利用促進イベントを実施する」は4.4pt 減少となっているが、「自宅周辺にある公共交通の種類を調べる」「近所の人や友人、町内会と一緒にバス停の位置やダイヤ等の改善アイデアについて話し合う」など実施しやすいものについては増加するとともに「できることはない」と回答した人が5.6pt 減少している。

図 公共交通を維持するために取組んでもよい施策
＜2024 年度調査＞



＜2022 年度調査＞

